

御近隣の皆様へ

事業者: ENEOS株式会社
施工者: 株式会社NIPPO
中部支店

水素ステーション建設工事のお知らせ

拝啓、時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、ENEOS（仮称）WovenCity水素ステーション建設工事に着手する事となりましたので、お知らせ致します。工事概要は下記のとおりとなります。

工事にあたりましては、騒音・振動及び危険防止・交通安全等に留意し、御近隣の皆様に出来るだけ御迷惑をおかけしないよう工事を進める所存でございます。御理解御協力賜りますようお願い申し上げます。

尚、何かございましたら下記の連絡先に御連絡下さるようお願い致します。

敬具

工事名 : ENEOS（仮称）WovenCity水素ステーション建設工事

場所 : 静岡県裾野市御宿1576-3（添付資料参照）

工期 : 2024年3月初旬～2025年2月末日（添付資料参照）

1. 作業時間

原則、工事は午前8時から午後6時と致します。

（時間外に大きな音の出ない作業をさせて頂くことがございます。）

2. 休日

原則として日曜日、年末年始は休業致します。

（大きな音の出ない作業をさせて頂くことがございます。）

3. 車両台数

通勤車両 1日平均20台程度を予定しています。

工事車両 1日平均10台程度を予定しています。

（1日あたり最大30台（掘削、コンクリート打設時））

4. 配慮事項

資機材の搬入搬出は、周辺の皆様への影響が出来る限り小さくなるよう努めます。

現場で入り口には必要に応じて誘導員を配置し、周辺の皆様の通行を優先致します。

工事車両が周辺一般道に待機しないよう努めます。

騒音、振動、粉塵等による周辺の皆様への影響が出来る限り少なくなるよう努めます。

一般道通行時には、交通マナーを守ります。

工事中の安全確保は、全てにおいて優先致します。

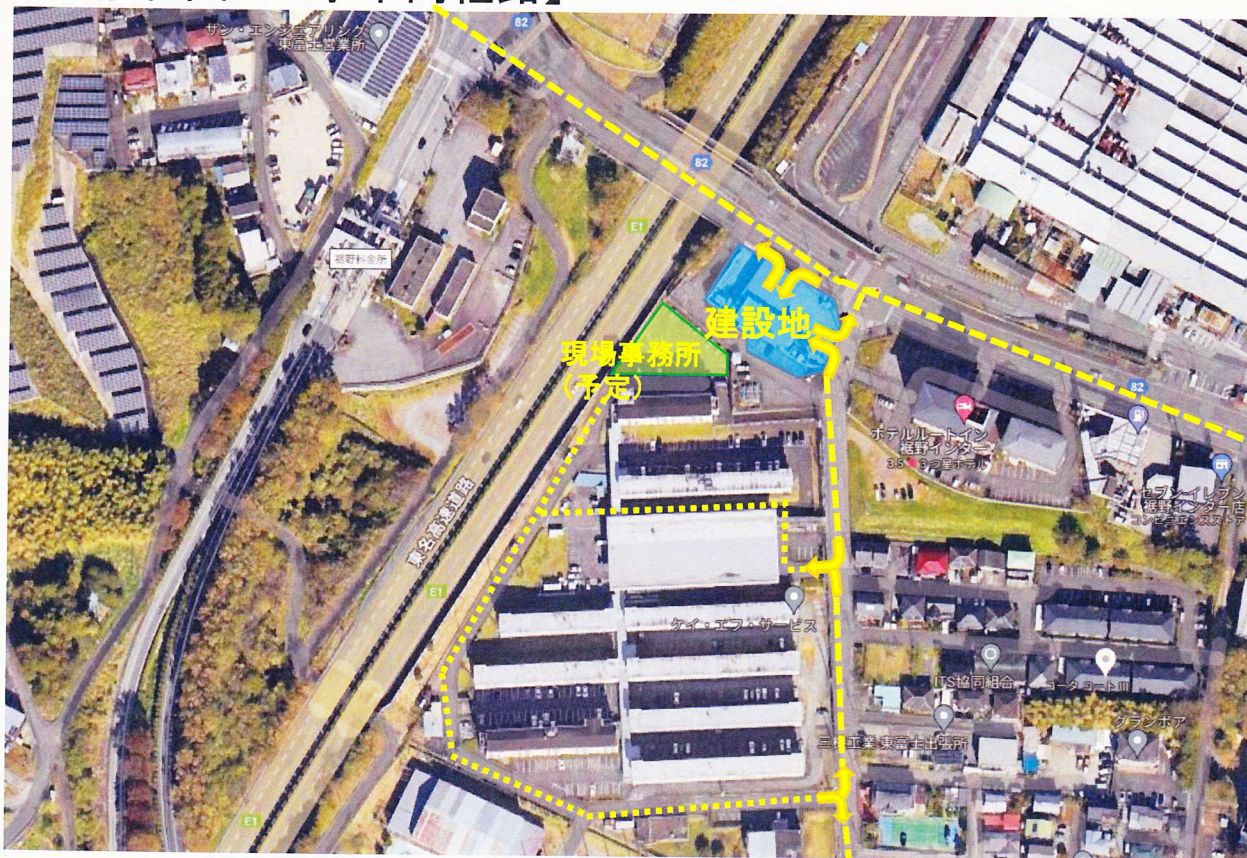
<工事に関する問い合わせ先>

株NIPPO 中部建築工事事務所

TEL 052-211-6281 担当: 吉田

工事担当: 決定しましたら改めてお知らせ致します。

【工事範囲と工事車両経路】



【工事日程表】

| | 2024年 | | | | | | | | | | | 2025年 | |
|------|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|-------|--|
| | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | |
| 基礎工事 | ■ | | | | | | | | | | | | |
| 上屋工事 | | | | ■ | | | | | | | | | |
| 機器工事 | | | | | | | | ■ | | | | | |
| 外構工事 | | | | ■ | | | | | | | | | |



車両通行ルート

(Woven City建設工事と同様)

「Woven City」における水素ステーション建設計画について

弊社は、トヨタ自動車様が静岡県裾野市に建設中の実証都市「Woven City」のプロジェクトに参画するため、実証街区の近接地に水素ステーションを整備し、燃料電池自動車(FCV)等への水素供給拠点とする計画です。

【水素ステーション計画概要】

(1)建設予定地

静岡県裾野市御宿・県道82号線沿い（裾野IC東交差点角）

(2)面積(概算)

約 2,034 m² (615坪)

(3)主な設置機器

- ・ 水電解式水素製造装置※、圧縮機、蓄圧器、冷凍機、充填機 等

※ 水電解式水素製造装置にて、水と再生可能エネルギー由来の電気を使い、CO₂フリーのグリーン水素を製造します。

なお、現在営業中の水素ステーションは都市ガスやLPGを改質して水素を取り出す方式を採用しています。

(4)水素供給の対象自動車

- ・ 燃料電池自動車(乗用車タイプ)
- ・ 燃料電池バス
- ・ 燃料電池トラック
- ・ 上記の他、本水素ステーションで製造した一部の水素は、専用導管を通じてWoven City街区へ供給する実証を計画しています。

(5)建設および運営主体

- ・ ENEOS株式会社(施主)が水素ステーション建物を建設した後、水素ステーション運営会社(100%子会社の(株)ENEOS水素サプライ&サービス)に運営を委託します。

(6)着工および開所時期

- ・ 着 工： 2024年3月初旬
- ・ 営業開始： 2025年予定

(7)準拠する関連法案

- ・ 設計・設備製作・建設工事および運営については、高圧ガス保安法およびその他の適用法令を遵守して行います。なお、着工前および必要の都度、静岡県庁様および裾野市役所様等より、法令に基づく審査を受け、必要な許可をいただいてから運営を開始します。

水素ステーションの基本構成と安全

水素ステーションには様々な安全対策が施されています。
安全対策の基本は、①水素の漏洩防止 ②万が一漏れた場合の早期検知 ③滞留防止④引火防止 ⑤火災発生時の影響軽減 です。

① 水素をステーションの敷地内で製造する場合の装置です

水素製造装置

- 耐震設計
- ガス検知器
- 自動停止機構
- 換気設備
- 鋼鉄製ケーシング
- 緊急停止スイッチ

② 水素を圧縮します

水素圧縮機

- 耐震設計
- ガス検知器
- 自動停止機構
- 換気設備
- 障壁
- 緊急停止スイッチ

③ 水素を蓄えます

蓄圧器

- 耐震設計、フレーム構造
- ガス検知器、自動停止機構
- 緊急遮断弁
- 安全弁、圧力リリーフ弁
- 火災検知器、散水設備

ディスペンサー

- 緊急離脱カプラー
- ガス検知器、地震計、自動停止機構
- 水素が滞留しない屋根構造
- 火災検知器
- 緊急停止スイッチ

保安管理体制

- 有資格者による保安管理
- 定期点検・検査

スタッフによる安全管理を徹底しています

水素受入貯蔵設備

外部で製造した水素を運んできて使う場合の設備です。
※Woven cityでは設置しません

④ 燃料電池自動車に給水素します

【安全対策の内容】

● 水素を漏らさない

水素ステーションでは水素による金属脆化の影響を受けない材料の使用が義務付けられている。配管や容器は使用圧力に対して十分な強度で作られ、厳しい耐圧テストをクリアしている。

● 漏れたら早期に検知し、拡大を防ぐ

水素ステーションの各所には漏えい検知器が設置され、微量の漏えいを検知した場合は各設備ごとに水素の供給を遮断し、漏えいの拡大を防止する。

● 水素が漏れても溜めない

水素は気体の中で最も軽く滞留しにくいいため、漏れてもすぐに上方へ拡散し、着火しない薄さまで希釈される。建屋は水素が滞留しない構造になっており、圧縮機等の設置室には換気設備が設置されている。

● 漏れた水素に着火させない

水素ステーションでは、電気設備を防爆構造として着火源を排しており、万が一、漏えいしても着火の可能性は低い。

● 万一、火災等が起こっても周囲に影響を及ぼさない

ディスペンサーや蓄圧器には火災を検知し、警報し、かつ、設備の運転を自動的に停止するために火災検知器が設置されている。万が一漏えいガスに着火しても速やかにガスが遮断され消火する。また、高圧ガス設備の外周から敷地境界に対して一定距離を有するか、障壁等の代替措置が取られている。